

乳汁を用いた牛白血病ウイルス検査法の検討

：伊那家保 大泉卓也

牛白血病対策には農場の浸潤状況把握が重要。乳汁を用いた牛白血病ウイルス(BLV)各種検査の可能性を検討。試験1：エライザ法(EL)は浸潤農場の血清、個体乳各71検体について実施し、個体乳は陽性14検体、陰性57検体。試験2：6ヶ月前血清陰性個体のうち個体乳陽性1個体、個体乳陰性だがS/P値やや高値1個体の計2個体について血清のELを実施し、陽転を確認。試験1・2の結果から、個体乳のELではS/P値0.017～0.132の間にカットオフ(CO)値を設定することでより正確な検査が可能と考察。試験3：バルク乳によるスクリーニング検討のため、陽性個体中最低S/P値の乳清を2倍階段希釈しELを実施。32倍希釈以上はS/P値0.017未満であり、バルク乳のELには限界。試験4：PCRは陽性個体乳13検体、浸潤農場のバルク乳2検体の計15検体について実施し、全て陰性。以上より、乳汁を用いたBLV検査法は個体乳のELが有用。CO値の設定でより正確なBLV感染の判定ができると考察。